

4 事務事業の現状と課題

活動指標	指標名	計画値 (H27)	目標値 (H32)	目標値 (H37)
	高齢者事業団会員数	70名	80名	90名
事務事業改善策 (継続事業のみ記入)				

5 事務事業の効果について

取組みに当たって期待される効果など	高齢者が地域とつながり、社会参加の機会を充実させることにより生きがいが感じられる。
-------------------	---

6 評価の視点

ア. 市民ニーズ	<input checked="" type="checkbox"/> かなりのニーズがある <input type="checkbox"/> ニーズはある <input type="checkbox"/> ニーズはあまりない 今後ますます高齢者人口が増加するため、いきいきと活躍できる機会を増やし健康寿命を延ばすことが求められている。
イ. 市が実施する必要性	<input type="checkbox"/> 市が実施すべきである <input type="checkbox"/> 市の実施について検討の余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 市以外で実施可能である 高齢者事業団に対する支援を目的としている。
ウ. 事業の緊急性	<input type="checkbox"/> 緊急性が高い <input type="checkbox"/> 緊急性はある <input checked="" type="checkbox"/> 緊急性はない 多様化する高齢者のニーズを把握し、地域とつながり、生きがいが感じられる社会参加の機会を充実するため、地域住民、民間事業者、行政を含む関係機関等で検討する必要がある。
エ. 手段の適切性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 現状として妥当である <input type="checkbox"/> 検討の可能性はある 高齢者事業団の事業は会員に適した仕事の開拓と提供を行うことにより、地域とつながり、生きがいが感じられる社会参加の機会が与えられているため手段として適切である。
オ. 事業の公平性	<input type="checkbox"/> 公平性は高い <input checked="" type="checkbox"/> 概ね公平である <input type="checkbox"/> 改善の余地はある 元気な高齢者の就業機会の開拓と拡大を図る事業への支援であるため概ね公平である。
カ. 事業の有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 本事業の有効性が高い <input type="checkbox"/> 本事業の有効性がある <input checked="" type="checkbox"/> 既存事業と大きな差はない 元気に働くことを生きがいに感じられる高齢者。

7 今後の事業の進め方

ア. 総合政策部で付された意見	【速やかに実施】 多様化する高齢者のニーズを把握し、地域とつながり、生きがいが感じられる社会参加の機会の充実に向けた検討を加えながら、事業を推進されたい。
イ. アを踏まえ、担当部局の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり着手が適当 <input type="checkbox"/> 再検討し実施する <input type="checkbox"/> 着手を延期する 草刈、除雪、その他軽作業が主な業務であるが、会員数の増加を推進し更なる業務の展開を推進してまいりたい。

作成年度

平成27年度

事務事業評価(事前評価)シート

主管課(担当名)	介護福祉課(高齢者福祉担当)	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画 <input checked="" type="checkbox"/> 重点プロジェクト
事務事業名	外出支援サービス事業	事業番号	11359

1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	1-5	高齢者福祉の充実
	施策目標	高齢者が生きがいをもって活躍するまち	

2 事務事業の目的

目的	概ね65歳以上の寝たきりになっている者や重度身体障害者等はひとりで外出することが困難である。このような方々に対し、①緊急性のない病気治療に伴う通院、②医師の特別な指示のある入退院、③保健福祉サービス提供施設等の利用に対し車輦による外出支援(移送)を実施する。
成果	ひとりでは病院や施設等に行けない者に対し、家族に代わって移送を行うことにより利便性を向上させ、家族の負担を軽減する。
実施方法	<input type="checkbox"/> 直営(市が直接実施) <input type="checkbox"/> 補助(民間等に補助) <input checked="" type="checkbox"/> 委託(民間等に委託) <input type="checkbox"/> その他
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務

3 事務事業の概要

事務事業の概要	年度	概要						
	27	高齢者等への移送サービス						
	28	同上						
	29	同上						
	30	同上						
	31	同上						
事業費と内訳	(単位:千円)		H27	H28	H29	H30	H31	総事業費
	事業費		13,677	13,738	14,110	14,155	14,155	69,835
	内訳	国庫支出金						0
		道支出金						0
		地方債						0
		その他						0
		一般財源	13,677	13,738	14,110	14,155	14,155	69,835
	人員(人工)		0.08	0.08	0.08	0.08	0.08	
	職員費(人員×8,081千円)		646	646	646	646	646	3,230
総事業費		14,323	14,384	14,756	14,801	14,801	73,065	
維持管理	管理主体							
	運営方法							
	維持管理費	施設維持費						
		概算人件費						
		合計/年						

4 事務事業の現状と課題

活動指標	指標名	計画値 (H27)	目標値 (H32)	目標値 (H37)
	外出支援サービス利用者数	180人	190人	200人

事務事業改善策
(継続事業のみ記入)

5 事務事業の効果について

取組みに当たって期待される効果など	ひとりでは病院や施設等に行けない者に対し、家族に代わって移送を行うことにより利便性を向上させ、家族の負担を軽減する。
-------------------	--

6 評価の視点

ア. 市民ニーズ	<input checked="" type="checkbox"/> かなりのニーズがある <input type="checkbox"/> ニーズはある <input type="checkbox"/> ニーズはあまりない 超高齢化社会に伴い、ひとりでは外出できない者が増加している。
イ. 市が実施する必要性	<input type="checkbox"/> 市が実施すべきである <input type="checkbox"/> 市の実施について検討の余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 市以外で実施可能である 車輦での移送業務のため、専門的な知識や技術を必要とせず、民間事業者等でも実施が可能である。
ウ. 事業の緊急性	<input type="checkbox"/> 緊急性が高い <input type="checkbox"/> 緊急性はある <input checked="" type="checkbox"/> 緊急性はない 緊急性のない場合に利用可能としている。
エ. 手段の適切性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 現状として妥当である <input type="checkbox"/> 検討の可能性はある ひとりでは外出できない者にとっては利用価値が高く、家族にとっても負担軽減が図られているため手段として適切である。
オ. 事業の公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 公平性は高い <input type="checkbox"/> 概ね公平である <input type="checkbox"/> 改善の余地はある 移送を必要とする者を幅広く支援する事業であり、公平性は高い。
カ. 事業の有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 本事業の有効性が高い <input type="checkbox"/> 本事業の有効性がある <input type="checkbox"/> 既存事業と大きな差はない ひとりでは通院や保健福祉サービスを提供する施設等への移動ができない者への支援事業であり有効性は高い。

7 今後の事業の進め方

ア. 総合政策部で付された意見	【速やかに実施】 市民ニーズ・利用者数等の把握に努め、適正な事業推進を図りたい。
イ. アを踏まえ、担当部局の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり着手が適当 <input type="checkbox"/> 再検討し実施する <input type="checkbox"/> 着手を延期する 超高齢化社会に伴い、市民ニーズが増加することが予想されるため、適正な事業推進を図りたい。

作成年度

平成27年度